

評価者	教育部	佐藤 尚之
-----	-----	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備
目標とすべきま ちの姿	平成22(2010)年度をもって既に完了している学校施設(校舎・体育館)の構造体の耐震補強に加えて、非構造部材の落下防止等耐震対策が講じられているため、児童生徒が安全かつ安心して学習できる環境が整備されています。 また、トイレ等衛生設備の整備など、健全な学習環境の構築に資する取組が進められています。一部の学校においては、エコスクールの推進に向けて、太陽光発電設備又はLED等次世代型照明器具が導入されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	22.1%	平成27年度	25.3%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

仕事の効果	お金の使い方			お金の使い方			<p><妥当性の分析></p> <p>仕事の効果、お金の使い方ともに、「ちょうどよい」が47%と高いポイントであり、当施策は妥当であると分析できる。また、次に多いのはお金の使い方が「足りない」、効果「不十分」の10%であり、もっと力を入れるべきとの市民意識が高いと考えられる。 施策の重要性も高いと認識されている。</p>	
	必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.3%	必要以上の効果	1.7%		1.3%
	ちょうどよい	1.7%	48.6%	2.8%	ちょうどよい	4.4%	47.2%	1.0%
	効果不十分	1.6%	1.6%	12.6%	効果不十分	1.9%	1.9%	9.7%

平成26年度

平成27年度

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	23.2%	47.6%	1.7%	27.5%	100.0%
平成27年度	20.3%	45.9%	2.7%	31.0%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

引き続き、小学校及び中学校施設の耐震対策を行う。
大船中学校の改築を進めるとともに、中学校普通教室及び特別教室への冷房設備設置に向けた具体的作業を進める。

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
教育-18	小学校施設整備事業	120,771	122,150	122,258	125,149	0.2	0.4	b	A
教育-19	小学校防災対策事業	22,450	16,146	23,193	16,896	0.1	0.1	b	C
教育-20	中学校施設整備事業	163,355	1,992,145	172,275	2,004,140	1.2	1.6	b	A
教育-21	中学校防災対策事業	12,253	15,135	12,996	15,885	0.1	0.1	d	C

(3) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】 御成小学校の児童数増に対応するため、仮設校舎を賃借した。小坂小学校のトイレ改修工事のための設計を行った。大船小学校及び関谷小学校校舎受水槽改修工事を行った。今泉小学校の情緒通級指導教室改修工事を行った。鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画策定委員会を設置し、旧講堂の保存活用について検討を始めた。(教育-18) 小学校体育館の非構造部材に係る耐震対策修繕を行った。深沢小学校・玉縄小学校・今泉小学校の給食棟耐震改修工事設計を行った。(教育-19) 大船中学校改築工事及び実施に伴う工事監理委託を行った。大船中学校の改築に伴い、仮設校舎を賃借した。御成中学校外5校の冷房設備設置工事設計を行った。御成中学校外3校の給食受入室改修工事を27年度・28年度の2箇年の継続事業として開始した。玉縄中学校の公共下水道接続工事を行った。御成中学校本館2階4階のパーティション改修工事を行った。(教育-20) 中学校体育館の非構造部材に係る耐震対策修繕を行った。(教育-21)</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】 玉縄中学校の屋外非常階段改修工事について、入札不調により実施できなかったため、平成28年度に予算を繰り越し、実施に努める。(教育-20)</p>

(4) 平成27年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善
<p><上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等> 老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めている中で、ほぼ計画どおりに施設整備事業を実施した。</p>			

3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

<p>耐用年数を超過し、老朽化の進行する学校施設について、鎌倉市公共施設再編計画との整合性を考慮しながら、改築や大規模改修等の実施について検討する。また、健康で安全な学習環境を構築するため、洋式便器、多目的トイレ及びドライフロアの拡充など快適なトイレづくりを進めるとともに、普通教室への冷房設備設置を進める。 平成26年度に耐震診断を行い、耐震性に課題のあった深沢小学校、玉縄小学校及び今泉小学校の給食棟耐震改修工事を行う必要がある。 今後、熊本地震のような大規模地震に対する防災対策について、文部科学省の動向を注視し、対応を図っていきたい。</p>

4 平成28年度の目標

<p>大船中学校の改築工事を進めるとともに、中学校普通教室への冷房設備設置及び小学校普通教室への設置準備作業を進める。 耐震性に課題のある深沢、玉縄、今泉小学校の給食棟耐震改修工事を行うとともに、熊本地震のような大規模地震に対する防災対策について、文部科学省の動向を注視し必要に応じて対応を図る。</p>

5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)

整理番号	教育-18	事業名	小学校施設整備事業					単位	校	指標の傾向	備考
指標の内容	普通教室への冷房設備設置								⇒		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
計画どおり平成31年度までに小学校全校の普通教室に冷房設備を設置する。	目標値				4	6	6				
	実績値										
	達成率										
整理番号	教育-19	事業名	小学校防災対策事業					単位	校	指標の傾向	備考
指標の内容	体育館非構造部材耐震対策								↗		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
体育館の非構造部材の耐震対策を平成27年度までに完成させる。	目標値	4	3								
	実績値	4	3								
	達成率	100.0%	100.0%								

整理番号	教育-20	事業名	中学校施設整備事業					単位	校	指標の傾向		備考
指標の内容	普通教室への冷房設備設置											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
計画どおり平成29年度までに中学校全校の普通教室に冷房設備を設置する。	目標値			6	2							
	実績値											
	達成率											
整理番号	教育-21	事業名	中学校防災対策事業					単位	校	指標の傾向	↗	備考
指標の内容	体育館非構造部材耐震対策											
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31					
体育館の非構造部材の耐震対策を平成27年度までに完成させる。	目標値	3	3									
	実績値	3	3									
	達成率	100.0%	100.0%									

参考 前年度外部評価結果への対応

<p>鎌倉市民評価委員会からの指摘</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜、横須賀市の全小学校、藤沢市の一部小学校に設置されている普通教室への冷房設備完備の、鎌倉市実施へ向けて早めの対応を望む。 国の通知によって実施するのではなく、鎌倉の子どもたち、学校の安全、安心対策として考えてほしい。 	⇒	<p>指摘への対応、コメント等</p> <p>普通教室への冷房設備設置については、平成31年度までに小中学校全校に設置できるよう計画しており、計画に沿って遅滞なく実施できるよう努めていく。</p> <p>児童生徒が安全・安心な状態で教育を受けられることを最優先に考え、環境を整えていきたい。</p>
--	---	--

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・限られた予算の中、施設の整備を順調に執り行い、学校施設の維持保全、延命化に努め、ほぼ計画通りに事業がすすめられた。
- ・順次業務を推進しているとともに、普通教室の冷房設備設置という新たな課題に取り組んだ。
- ・耐震補強等の安全対策の取組は順調に進められている。
- ・御成小学校旧講堂の保存活用の検討が始まった。

		評価の内訳								委員会の評価	
取組	↗	4	↘	0	→	4			↗		
効果	○	2	△	0	—	6	⇒		—		

《課題》

- ・大規模災害が多い現在、鎌倉もいつ災害が発生するか解らない。東日本大震災、熊本地震のような大規模地震に対する防災対策として、老朽化の進む学校施設に対し限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化が求められる。
- ・普通教室への冷房設備設置については、平成31年度までに小中学校全校に設置できるように計画するとあるが、小学校に対して本当に必要なのが疑問であり、必要性が明らかになっていない。
- ・目標に対してエコスクール推進に向けての取組が見当たらない。
- ・「冷房設備の設置」に加え、「快適なトイレづくり」についても注力することが求められる。

《提言》

- ・常に施設整備への配慮が重要であり、やらなくてもいい工事、やらなくてはいけない工事を正しく選別し、計画的に実施してほしい。東京オリンピック控え、工事価格、原料価格ともに急騰している事から、緊急性の低い事業については、適正価格にもどってから実施すべきである。
- ・エコスクールが省エネ対策を施した学校という位置付けなら、エアコンも含め長いスパンで考えた投資をしてほしい。目標を設定し、ハード面での整備の必要性があれば、施策・事業を展開すべきである。鎌倉市の環境を活かした教育にも有効な取組の設定をしても良いのではないか。